

A 土地・気象

1. 江南市の沿革

江南市の地は、清流木曾川の南側の扇状地に位置し、古くは先土器時代（今からおよそ1万2千年前）より、人々が狩猟や採集をしながら生活をしていたと思われます。

この時代の遺跡は江南市では発見されておりませんが、今からおよそ8千年から2千3百年ほど前の縄文時代の土器の破片が、高屋町、赤童子町から発見されています。

今なお残る古墳に曾本町の二子山古墳、南山町の富士塚などがありますが、これらは古墳時代（4世紀～6世紀）の終わりごろのものと考えられ、当時の豪族がこの地方を治めていたことが伺えます。

古くより中央との関係も深く御厨^{みくりや}、荘園^{しょうえん}が所在し、古代中世の大変事である壬申^{じんしん}の乱、承久^{じょうきゅう}の乱にも関わりをもっています。

天武天皇による古代国家が完成する前の壬申の乱には、当地でも大軍が動員され従軍したと思われます。また、村久野町の音楽寺付近からは、同時期の布目瓦^{ぬのめがわら}、蓮華文瓦^{れんげもんがわら}が出て、古い寺院の存在を物語っています。

承久の乱では、幕府を抑えようという京都方が、木曾川右岸に陣を敷いたのに対し、鎌倉方は、東海、東山道より大軍を攻め、草井、前渡^{まえど}(各務原市)は戦跡となっています。

戦国末期には、小牧・長久手の戦、関ヶ原の戦にも関わりがありました。

また、由緒ある曼陀羅寺が存在し、生駒氏を生み、蜂須賀氏も関連が深く、多くの武士団を輩出しました。

江戸時代は家康の九男徳川義直^{よしなお}が尾張藩初代藩主として、名古屋城に入ってから、藩制が整ってきました。

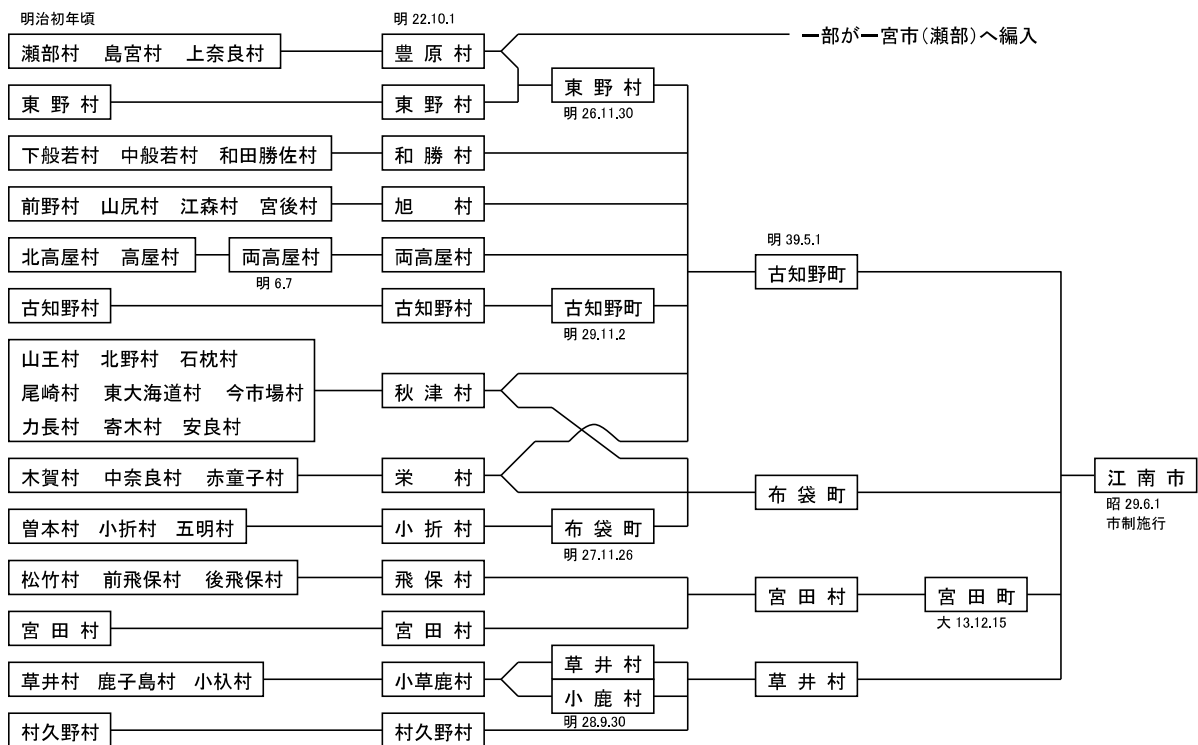
当時の江南市域の村は、36ヵ村あり、鎌倉、室町時代にはできていたようで、秀吉の村切りではっきりしました。

古くより木曾川は大洪水があり、そのつど大きな被害を受け、木曾川下流の河道が大きく変わるなど木曾川の乱流と戦い、水利をはかり、耕地の開発につとめてきました。

慶長13年(1608年)の検地には村高^{むらだか}がきまり、木曾川のお囲堤^{かこいづつみ}もでき、宮田用水、般若用水等が、今までの流れを利用して造られ、同時に新田が開発されました。

当時の村々は全くの農村でありましたが、明治時代には沿革図のように合併を経て、商業工業も発展し現在の江南市となっています。

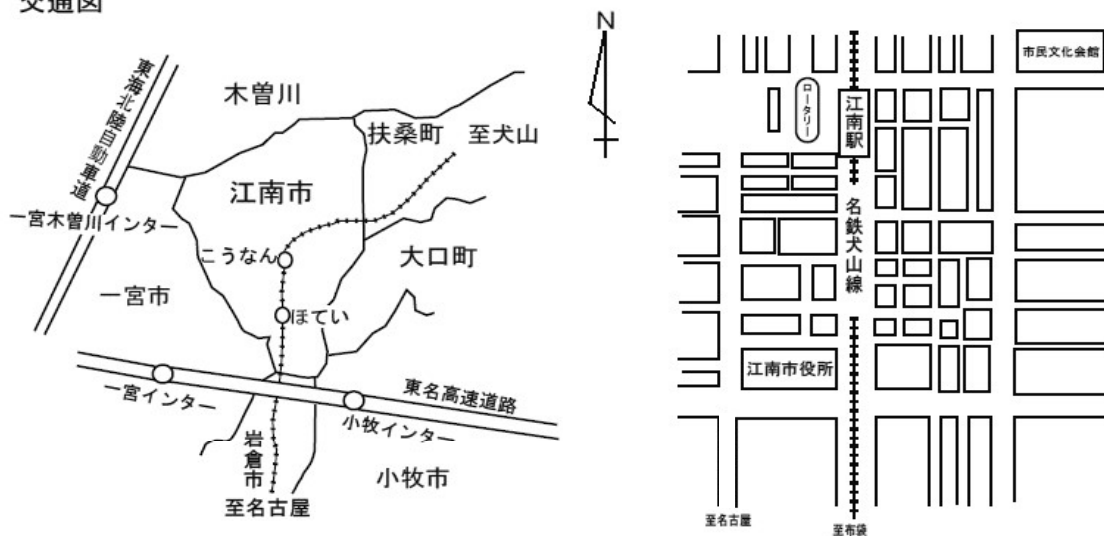
沿革図



2. 江南市の位置

市役所の位置		市の大きさ	
赤童子町大堀 標高19.582m	東経 136度52分24秒 北緯 35度19分44秒	東西 6.125km 周囲 32.0km	南北 8.760km 面積 30.20km ²
(東 端)		(西 端)	
前野町東	東経 136度54分09秒 北緯 35度20分17秒	河野町管竹	東経 136度50分06秒 北緯 35度20分37秒
(南 端)		(北 端)	
曾本町二子前	東経 136度53分12秒 北緯 35度17分45秒	中般若町川端	東経 136度53分46秒 北緯 35度22分31秒

交通図



市役所への交通・・・・・・・・・・名鉄犬山線江南駅から徒歩5分

3. 土地の利用状況

各年1月1日現在

(単位:ha)

	総数	田・畑	宅地	雑種地等	道路	その他
平成30年	3,020	709	1,235	274	441	361
平成31年	3,020	702	1,242	274	441	361
令和2年	3,020	697	1,249	273	441	360
令和3年	3,020	692	1,254	272	441	361
令和4年	3,020	688	1,259	271	442	360
令和5年	3,020	679	1,267	270	443	361

資料: 税務課・土木課

4. 民有地面積

各年1月1日現在

(単位:千㎡)

	総数	田	畑	宅地	山林	その他
平成29年	20,971	1,347	5,786	11,530	0	2,308
平成30年	20,957	1,336	5,742	11,580	0	2,299
平成31年	20,951	1,328	5,681	11,646	0	2,296
令和2年	20,915	1,322	5,626	11,715	0	2,252
令和3年	20,909	1,312	5,589	11,762	0	2,246
令和4年	20,903	1,304	5,553	11,817	0	2,228

出典: 「市町村行財政のあらまし」

5. 都市計画用途地域別面積

令和5年4月1日現在

	総数	市街化区域												
		計	第1種	第2種	第1種	第2種	第1種	第2種	準	近隣	商業	準	工業	工業
			低層住居専用地域	低層住居専用地域	中高層住居専用地域	中高層住居専用地域	住居地域	住居地域	住居地域	住居地域	商業地域	商業地域	工業地域	工業地域
面積 (ha)	3,020	737	28	—	203	—	299	12	41	49	25	—	80	—
構成比 (%)	(100)	24.4	3.8	—	27.5	—	40.6	1.6	5.6	6.6	3.4	—	10.9	—

資料: 都市計画課

6. 気 象 概 況

	気温(°C)			平均湿度 (%)	平均風速	最大風速(m/s)・風向	降水量 (mm)
	平均	最高	最低				
平成30年	16.7	39.6	-4.0	71.4	2.0	39.4 南南東	1623.0
令和元年	16.8	38.3	-2.8	70.8	1.9	25.4 南南東	1539.5
令和2年	16.7	38.7	-2.9	67.3	1.9	20.6 南南東	1814.0
令和3年	16.6	38.2	-3.3	61.7	1.9	25.6 南	1856.5
令和4年	16.5	38.9	-3.2	61.6	1.9	22.4 南南東	1756.5
1月	3.6	14.0	-3.2	57.7	1.9	19.2 西北西	27.0
2月	3.8	14.4	-2.9	60.1	1.9	19.3 北西	39.0
3月	10.4	21.8	-0.3	52.8	2.1	15.5 北西	94.5
4月	16.5	28.8	3.9	57.8	2.1	16.1 北北西	102.5
5月	19.3	33.1	7.7	54.9	1.9	15.0 西北西	146.5
6月	24.2	38.6	14.7	64.2	1.9	15.4 北西	105.0
7月	27.5	38.9	21.6	69.6	1.8	13.4 南	545.5
8月	28.4	38.0	22.1	69.4	1.8	13.6 南	267.5
9月	25.9	34.8	17.2	67.9	2.2	22.4 南南東	212.0
10月	18.2	31.1	7.2	59.8	1.6	13.6 北北西	73.0
11月	14.3	24.0	6.6	62.7	1.6	13.9 南	114.0
12月	6.0	16.4	-2.2	62.8	1.7	15.7 北西	30.0

資料:消防本部